

1996年度

特別セミナー

新しい視点で学び

新たな自分を発見する

主体的学習プログラム

江戸を歩く

～巨大都市・東京に眠る歴史～

河合塾日本史科専任講師 石川晶康

実施日時 6月15日(土)・6月16日(日)

9:00 ～ 17:00

実施場所 千駄ヶ谷校・都内各所

海外発・どこへ行く日本 ～ボーダーレス時代の日本の行路～

河合塾小論文科専任講師 森永和英

実施日時 5/11・5/25・6/8・6/22(すべて土曜日)

1・2限連続(9:00～10:30・10:50～12:20)

実施校舎 千駄ヶ谷校

生命生成の謎

～発生から遺伝へ、再び発生へ～

河合文化教育研究所主任研究員 長野 敬

実施日時 5/11・5/25・6/8・6/22(すべて土曜日)

1・2限連続(9:00～10:30・10:50～12:20)

実施校舎 千駄ヶ谷校

都合により、講義日時、実施内容が変更になる場合があります。

主催／河合文化教育研究所

協賛／河合塾

駒場校	03-3465-3581	千駄ヶ谷校	03-3497-1581	池袋校	03-3988-0581
立川校	0425-26-0581	町田校	0427-24-7581	横浜校	045-312-6581
大宮校	048-647-0581	松戸校	0473-63-7581	千葉校	043-241-3581
グリーンアカデミー藤沢校	0466-50-2581				

江戸を歩く ～巨大都市・東京に眠る歴史～

石川 晶康

たまには教科書と黒板を捨ててみませんか。

大森貝塚から超高層ビルまで、世界の巨大都市「東京」には歴史がギッシリ詰まっています。いつも何気なく、あわただしく通りすぎているだけの街の隅々に、古代の東国も中世の江戸も眠っています。もちろん、東京は「江戸」そのものです。

東京湾に浮かぶ「お台場」から江戸城本丸跡。数々の歴史の現場となった「東京駅」。高層ビルの中にポッカリと空いた空間、「将門の首塚」。ただ、せわしく通りすぎるだけの日常からたまには脱出して、東京を歴史の現場として感じ取ってみましょう。

1日目 [6/15 (土)] 講義 9:00~12:20 (千駄ヶ谷校), 見学 13:30~17:00

午前 講義 1. 「都市の歴史」(VTR・地図を使います。)

2. 「巨大都市・江戸の誕生」

午後 見学 江戸東京博物館見学と両国近辺の探訪

2日目 [6/16 (日)] 9:00~17:00 (千駄ヶ谷校に集合、東京駅にて解散の予定。)

午前・午後 お台場・泉岳寺・江戸城などを歩きます。

移動は貸切バスや水上バスで。

※参加者には「参加のしおり」をお届けします。



●石川 晶康 (いしかわ あきやす)

河合塾日本史科専任講師。迫力満点の講義とダンディな風貌で、つらい暗記・眠い授業から、幾多の受験生を解放。東大論述から、私大受験まで幅広いレベルをこなし、受験生から絶大な支持を受ける。一方で、法制史関係の雑誌論文や古文書編纂事業にかかわる。

海外発・どこへ行く日本 ～ボーダーレス時代の日本の行路～

森永 和英

今日の日本経済は、バブル崩壊後の処理に追われて、完全に行き詰まっています。日本の経済と政治は、今や全面的な構造改革を余儀なくされています。そんな日本の現在を海外はどのように見つめているのでしょうか。折しもアメリカは大統領選挙の年であり、そこでは争点の一つとして貿易問題が国民的に議論されています。またアメリカもEUもともに、インターネットで結ばれた世界市場の覇者となるべく、情報産業の育成に向かっていきます。その戦略の中で日本市場はどのように位置づけられているのでしょうか。

住専問題、HIV訴訟、不良債権処理と、日本の現在の報道は、やや日本国内の政治状況の報道に追われ、国際環境の中での日本を大局的に見つめる目を失っているようです。こんなときにこそ、私たちは自分自身の目で、海外での日本に関する報道や、インターネット上での日本論の内容を確認し、それを自分自身の観点から分析していくことが必要となるのです。この講座では、将来国際的な場で仕事をしていきたいと考えている若い諸君とともに、

(1) 新しいメディアを利用した国際的な情報収集の方法

(2) 収集した情報を分析し、国際戦略を立てる能力

この二つを学んでいきたいと思います。



●森永 和英 (もりなが かずひで)

東京大学教養学部教養学科卒業。同大学大学院博士課程にて科学基礎論専攻。

現在、河合塾小論文科専任講師を務める。国際関係論から高齢化社会論にいたるまで幅広い分野での議論を展開することには定評がある。

生命生成の謎 ～発生から遺伝へ、再び発生へ～

長野 敬

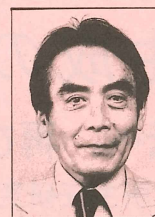
昨年度のノーベル生理学医学賞は、ショウジョウバエの発生のしくみを分子レベルで明らかにした3名の研究者に授けられた。ショウジョウバエといえば、遺伝学の実験にいつも用いられて、教科書でもおなじみの昆虫。それが今や、卵から幼虫へという初期発生で人気の研究対象になっている。

一個の小さな点のように見える受精卵や植物の種子から複雑な形ができてくる。しかも親と同じものがいつも間違いなく再現してくることは、いつも人々の心をとらえる不思議だった。生命に宿る特別な力によるものとも考えられた。逆に、そのような力は自然界に広く潜んでいて、それが生物という形をとって出現するという自然発生の考えも素朴に信じられて、19世紀まで生き残った。

遺伝と発生という生命の基本現象は、生物学の中で分析的に研究されて遺伝学と発生学という別個の分野になった。それが今、《遺伝子》という語をキーワードとして再び統一され始めている。

古代の素朴な驚きから、現代の先端における理解まで、遺伝と発生の現象がどのように解き明かされてきたのか、その軌跡を追う。本セミナーのテーマは以下。

1. 「謎」の成立 解決への模索
2. 液体と粒子 発生の「場」とは何か
3. 二重らせんの「発明」 暗号を解読せよ
4. 調節の調節 一次元から四次元へ



●長野 敬 (ながの けい)

河合文化教育研究所主任研究員。前自治医科大学教授。医学博士。東京大学理学部植物学科卒業。同大学大学院満期修了。細胞分子生物学・生命論・近代生物学史専攻。日本生化学会、日本科学史学会、日本生物物理学会、生命の起源および進化学会。著書・訳書・論文多数。

受講手続

●受付●

受付開始日 4月10日(水)

受付時間 月～土 9:00～18:00
日・祝 9:00～17:00

受付窓口 河合塾各校舎

※各セミナーとも定員になり次第締め切ります。

●申込方法●

申込書に受講料(あるいは振込を証明する「振込金受取書」)を添えて受付窓口へ提出して下さい。

注) 申込書は、校舎窓口へ備え付けの「公開単科ゼミ申込書」を使用して下さい。なお、本特別セミナーと他の公開単科ゼミを併せて申し込む場合は、それぞれ別の用紙に記入して下さい。

※手続を完了した講座の取消、他の講座への変更は理由の如何を問わず、一切認められませんのでご注意下さい。

※一旦納入した受講料は理由の如何を問わず返金致しません。

●振込先一覧(口座名義 学校法人 河合塾)●

- ・第一勧業銀行 池袋西口支店(普) 1722141
- ・富士銀行 立川支店(普) 1945325
- ・三菱銀行 原宿支店(普) 62826
- ・さくら銀行 原宿支店(普) 3045424
- ・三和銀行 原宿支店(普) 51303
- ・住友銀行 東京中央支店(普) 9405
- ・千葉銀行 西千代支店(普) 2196377
- ・第四銀行 池袋支店(普) 1041206
- ・スルガ銀行 横浜駅前支店(普) 306433
- ・横浜銀行 下北沢支店(普) 75449
- ・東京相和銀行 千駄ヶ谷支店(普) 68778

●受講料・講座コード●

講座名	受講料	講座コード
江戸を歩く	10,000円	7451
海外発・どこへ行く日本	10,000円	7452
生命生成の謎	10,000円	7453

●入会金はありません。

●申込の際に、受講証をお渡しします。

●教材は、セミナー当日に配布します。

●受講料には教材費・消費税を含みます。